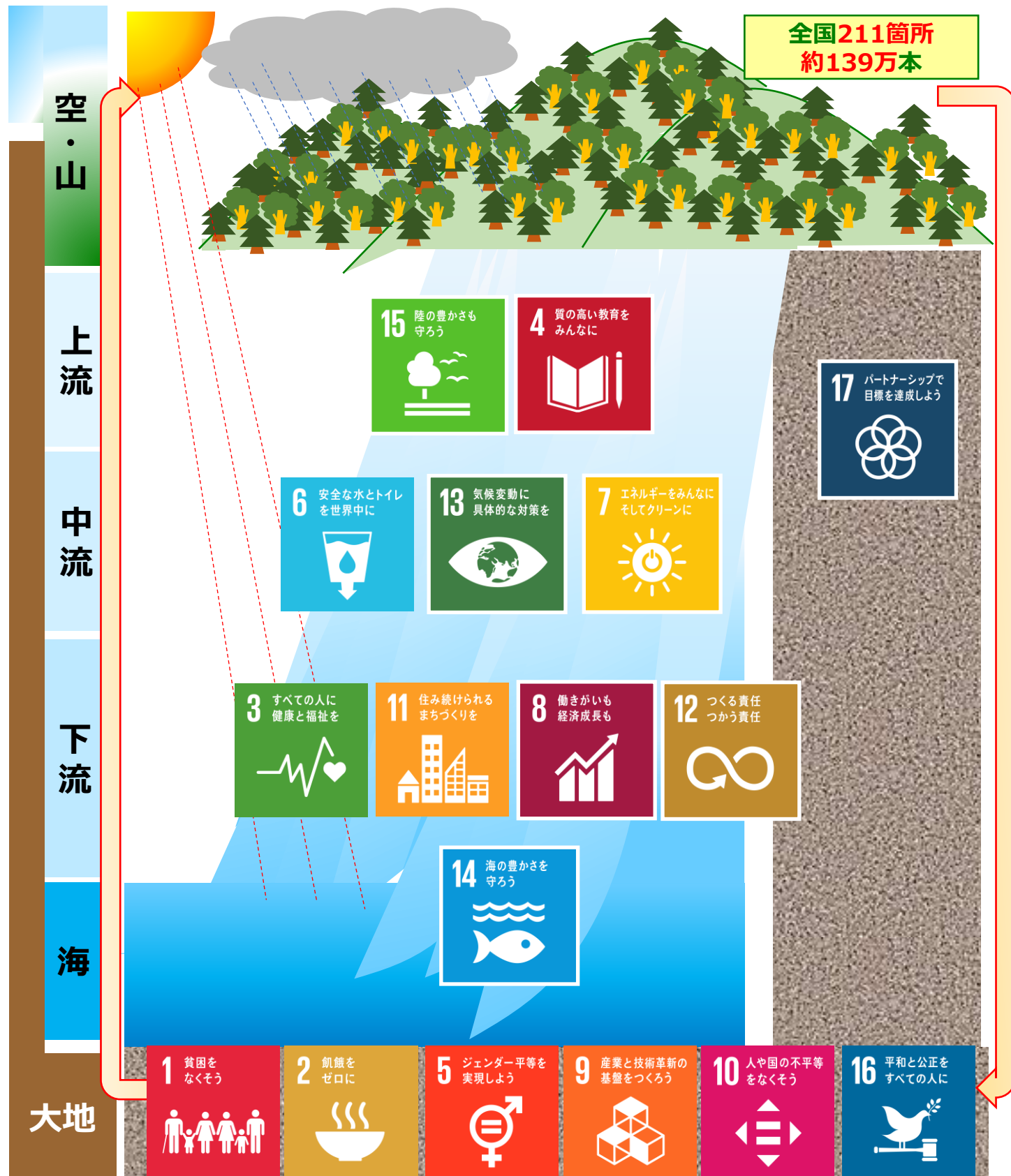


公益財団法人ニッセイ緑の財団のSDGsへの取組



特徴：①地球環境の持続的維持を目標としている ②山・川・海・大地の階層性に基づくSDGs
③自然の仕組みに合わせて循環させている

SDGs(持続可能な開発目標)の主な取組

財団事業の2本の柱

【森林づくり事業】

- ・全国 2 1 1 か所での森林づくり
- ・環境貢献・地域貢献を目指した新規の森の設置並びに苗木の提供
- ・動植物の生育・生息に資する里山づくり

【森林を愛する人づくり事業】

- ・植樹/育樹ボランティア活動の継続実施
- ・“ニッセイの森”での自然体験活動
- ・間伐材等を活用した“ニッセイの森”以外での活動

気候変動や生物多様性保全への対応

- ・適時適切・適地適木を原則とした多様な森林づくり
- ・里山などにおける生物多様性保全を図るための取組（OECM等）
- ・“ニッセイの森”の環境貢献度評価：年間13,689万円
～環境保全(CO₂固定)、水源かん養、山地保全の便益を評価～

包摂性(誰一人取り残さない)を重視した事業展開

- ・全年齢層を対象としたイベント等の展開
“ニッセイの森”の間伐材や自然を楽しむ要素を組み入れ、あらゆる属性(年齢、性別他)の方々に環境保全に係る意識啓発を幅広く展開
- ・「学校の木のしおり・樹木名プレート(“ニッセイの森”間伐材)」などを寄贈し、設置・活用に関わった方々に身近な自然に親しむ機会を提供

環境教育(SDGs達成のカギとなるESD)の推進

- ・多様な学習機会の提供を通じた環境保全意識の醸成
～全国の“ニッセイの森”での体験学習～
～間伐材等を活用した森林の恵みに触れる機会の提供～
～自然に親しむ活動機会の提供～
～オンラインによる地域を越えた情報の提供～